平 成 3 0 年 度

武雄市新工業団地整備事業特別会計補正予算書

(第3回)

#### 平成30年度 武雄市新工業団地整備事業特別会計補正予算(第3号)

平成30年度武雄市の新工業団地整備事業特別会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

- 第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ 1150万0 千円を減額し、歳入歳出予算の総額を 歳入歳出それぞれ 2億5960万0 千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(繰越明許費)

第2条 地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費」による。

(地方債の補正)

第3条 地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

平成 31 年 3 月 4 日 提出

武雄市長 小松 政

## 第 1 表 歳入歳出予算補正

歳 入

	款			項	補正前の額	補正額	計
2 市債					$2^{\stackrel{\text{(f)}}{=}}7100^{\stackrel{\text{(7)}}{=}}0$	$\triangle 1150^{\frac{7}{10}}$ 0	$2^{\stackrel{ ext{@}}{6}}5950^{\stackrel{ ext{ iny T}}{0}}0$
			1 市債		2 <sup>億</sup> 7100 <sup>万</sup> 0	$\triangle 1150^{\frac{7}{D}}0$	$2^{\stackrel{\text{(f)}}{=}}5950^{\stackrel{\text{(f)}}{=}}0$
	歳	入	合	計	2 <sup>億</sup> 7110 <sup>万</sup> 0	$\triangle 1150^{75} 0$	$2^{\stackrel{\text{(f)}}{=}}5960^{\stackrel{\text{(f)}}{=}}0$

歳出

	款			項	補正前の額	補正額	計
1 事業費					2 <sup>億</sup> 7100 <sup>万</sup> 0	$\triangle 1150^{\frac{7}{D}}0$	2 <sup>億</sup> 5950 <sup>万</sup> 0
			1 事業費		2 <sup>億</sup> 7100 <sup>万</sup> 0	$\triangle 1150^{\frac{\pi}{0}}0$	$2^{\stackrel{ ext{$(6)}}{}}5950^{\stackrel{ ext{$(7)}}{}}0$
	歳	出	合	計	$2^{\stackrel{\text{\tiny $(6)}}{}}7110^{\stackrel{\text{\tiny $(7)}}{}}0$	$\triangle 1150^{\frac{7}{1}}0$	2 <sup>億</sup> 5960 <sup>万</sup> 0

### 第 2 表 繰越明許費

款	項	事業名	金額
1 事業費	1 事業費	新工業団地整備事業	千円 2 <sup>億</sup> 3758 <sup>万</sup> 0

#### 第 3 表 地 方 債 補 正

#### (変更)

起債の目的		補			正		前					補	Ī	Ē.		後
上 頂 ♥ 月 FY	限度額	起債	の方	法	利 率	償	還	Ø	方 法	限	度	額	起債の方法	利	率	償還の方法
工業団地整備事業(地域開発事業)	千円 2 <sup>億</sup> 7100 <sup>万</sup> 0	<ol> <li>証書借力法</li> <li>財務省割</li> <li>地方その付</li> <li>借入れて年度の期間</li> <li>する。工事</li> </ol>	入又は債券系 財政融資資 対政融資資 を融資資 を融資 を融入し、 る。、借入れる は、し、 は、こ、 、 。 。 は、こ、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	を は は は は は は は は は は は は は	年3.0%	につる ② 値 編上 縮ス	かいては 条件に	は、 はる。 満期一 都合に 賃 に作	置期間等 人生活償りの は は りのえる	2 <sup>f</sup>	<sup>®</sup> 595	千円	補正前	杯正育に同じ	E 前 三 司	補正前に同じ

平 成 3 0 年 度

武雄市新工業団地整備事業特別会計補正予算説明書

(第3回 平成31年 3月議会)

## 歳入歳出補正予算事項別明細書

#### 1 総 括

歳 入

歳入			(単位:千円)
款	補正前の額	補 正 額	計
1 繰入金	10 <sup>7</sup> 0	0	10 <sup>75</sup> 0
2 市債	$2^{ ilde{g}} 7100^{ ilde{\mathcal{T}}} 0$	$\triangle 1150^{\pi} 0$	2 <sup>億</sup> 5950 <sup>万</sup> 0
歳入合計	2 <sup>億</sup> 7110 <sup>万</sup> 0	$\triangle 1150^{\frac{7}{0}}$ 0	2 <sup>億</sup> 5960 <sup>万</sup> 0

歳出

					補 正	額の財源	内 訳	
款	補正前の額	補 正 額	計		特 定	財 源		一 般 財 源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	) //X X/ 1///
1 事業費	$2^{\stackrel{\text{\tiny{$6}}}{}}7100^{\stackrel{\text{\tiny{$7}}}{}}0$	$\triangle 1150^{\frac{7}{1}}0$	2 <sup>億</sup> 5950 <sup>万</sup> 0	0	0	△1150 <sup>万</sup> 0	0	0
2 予備費	10 <sup>75</sup> 0	0	10 <sup>万</sup> 0	0	0	0	0	0
歳出合計	2 <sup>億</sup> 7110 <sup>万</sup> 0	$\triangle 1150^{\frac{7}{10}}$ 0	2 <sup>億</sup> 5960 <sup>万</sup> 0	0	0	△1150 <sup>万</sup> 0	0	0

# 2 歳 入 (款) 2 市債 (項) 1 市債

Ħ	補正前の額	補正額	<b>⇒</b> L	節		=	<b></b>	III
Ħ	無正削り領	畑 正 領	日	区 分	金 額	Ī	动	97
1 工業団地整備事業債	2 <sup>億</sup> 7100 <sup>万</sup> 0	△1150 <sup>万</sup> 0	2 <sup>億</sup> 5950 <sup>万</sup> 0	1 工業団地整備事業債	$\triangle 1150^{\overline{D}} 0$	工業団地整備事業		
計	2 <sup>億</sup> 7100 <sup>万</sup> 0	△1150 <sup>万</sup> 0	2 <sup>億</sup> 5950 <sup>万</sup> 0					

## 1 事業費 1 事業費 3 歳 出

(款) 1 事業費 (項) 1 事業費

			補	正額の	財源内	P.	箟	布			
目	補正前の額	補正額	計	特	定 財	源	一般財源	区分	金額	説	明
				国県支出金	地方債	その他	1/4 LX XIV		77. HR		
1 新工業団地	2 <sup>億</sup> 7100 <sup>万</sup> 0	△1150 <sup>万</sup> 0	2 <sup>億</sup> 5950 <sup>万</sup> 0	0	△1150 <sup>万</sup> 0	0	0	13 委託料	△1150 <sup>万</sup> 0	新工業団地整備実施設計業	務委託料
整備事業費											$\triangle 342^{\pi} 0$
										用地調査業務委託料	$\triangle 808^{\overline{D}} 0$
計	2 <sup>億</sup> 7100 <sup>万</sup> 0	△1150 <sup>万</sup> 0	2 <sup>億</sup> 5950 <sup>万</sup> 0	0	△1150 <sup>万</sup> 0	0	0				

## 地方債の前前年度末及び前年度末における現在高並びに当該年度末における現在高の見込みに関する調書

区 分	前前年度末	前年度末	当該年度中増減見込み	当該年度末
分	現在高	現 在 高	起 債 見 込 額 元金償還見込額	現在高見込額
工業団地整備事業債	0	0	$2^{\text{(f)}} 5950^{\text{(f)}} 0$ 0	$2^{ ilde{g}}~5950^{ ilde{ ilde{T}}}~0$